

都市再生整備計画 事後評価シート

小諸宿周辺地区

平成30年3月

長野県小諸市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	小諸市		地区名	小諸宿周辺地区			面積	54ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成30年2月		交付対象事業費	3,730.0	国費率	0.5				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道1013号線)、公園(大手門公園、あいおい公園)、地域生活基盤施設(南庭エントランス広場)、高質空間形成施設(相生町地区整備、観光サイン整備)、高次都市施設(コミュニティセンター)、中心拠点誘導施設(図書館、小諸厚生総合病院)、街なみ環境整備事業(街なみ整備助成)										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし				削除/追加の理由			なし			
		提案事業	なし				なし			なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	①道路(市道1001号線) ②地域生活基盤施設(中央西側駐車場、赤坂駐車場)				①来訪者のアクセス向上を図るため。 ②コンパクトシティの考え方に基づき、来訪者の駐車場を集約して整備することとしたため。			指標の「整備計画区域の集約地域におけるCO2排出量」に関係するが、元々、施設の付帯駐車場であったものを、地域生活基盤施設の駐車場として整備することとしたものであるため、目標数値に影響はない。			
		提案事業	なし				なし			なし			
	交付期間の変更	当初	－		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		－						
		変更	－										
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
指標1		整備計画区域の集約地域におけるCO2排出量	tCO2/年	33,235	H24	31,621	H29		27,340	○	あり なし	市役所敷地一帯の再整備に伴う都市機能の集約や、集約駐車場の整備により、CO2の排出が抑制され、目標の達成に繋がった。	－
指標2		整備計画区域の都市公園におけるCO2直接吸収量	tCO2/年	30.6	H24	31.5	H29		32.5	○	あり なし	都市公園の整備範囲は縮小したものの、計画当初より高木等の本数が増加したことが目標達成に繋がった。	－
指標3		相生町商店街の歩行者数の計	人/日	810	H24	1,141	H29		1,283	○	あり なし	市役所敷地一帯の再整備に伴う都市機能の集約がまちの魅力向上に寄与し、歩行者数の増加に繋がった。	－
指標4										あり なし			
指標5										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	整備計画区域の集約地域におけるCO2排出量	tCO2/年	3,323	H24				2,734			指標1の算出に係る計算式に誤りがあったことから、計算式を修正し、算出し直した。	－
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	市民有志による民間団体が発足し、アダプトシステムによる都市公園の維持管理が行われている。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング		相生町商店街の歩行者数について、毎年同時期に歩行者数の調査を実施。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も引き続き歩行者数の調査を行い、賑わいの変化に注視していく。		
	住民参加プロセス		大手門公園や、図書館、コミュニティセンター整備に係るワークショップの開催や市民懇談会による意見等の徴収。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も市民の意見を踏まえながら新しい賑わいの創出につながるよう連携を図っていく。		
	持続的なまちづくり体制の構築		アダプトシステムによる都市公園の管理。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 整備後の公園管理について、市民有志による民間団体により維持管理が行われている。今後も継続した取り組みとなるよう、連携を図っていく。		

小諸宿周辺地区(長野県小諸市) 都市再生整備計画事業の成果概要

The map illustrates the following key elements:

- Road Network:** National Route 16 (国道16号線), National Route 407 (国道407号線), and National Route 155 (国道155号線).
- Landmarks:** Shinogaki Park (篠ノ木公園), Shiojiri Station (小諸駅), and Shiojiri City Office (小諸市役所).
- Development Zone:** A red-outlined area indicating the primary focus of the urban plan.
- Project Categories and Locations:**
 - Base Urban Planning (基幹事業):** Includes projects like 'High-quality space formation' (高質空間形成施設) near Shinogaki Park, 'Park projects' (公園事業) at Daikoku Park (大富公園), and 'Neighborhood environment improvement' (街なみ環境整備事業) around the city center.
 - Local Living Basic Facility (地域生活基盤施設):** Includes parking lots (駐車場) such as Akatsuki (赤城), Central West Side (中央西側), and Southside Plaza (南庭エトラス広場).
 - Community Center (コミュニティセンター):** Located near the city office.
 - Other Facilities:** Includes a library (図書館), a combined hospital (小諸厚生総合病院), and various community centers (e.g., Nishinojo Community Center).

まちの課題の変化 ・市庁舎敷地一帯に、図書館、コミュニティセンター、病院を集積したことで、都市機能の集約化が図られた。 ・赤坂駐車場や中央西側駐車場の整備により、市役所周辺敷地における集約駐車場施設の整備が進められ、まちなかにおける交通が整理された。 ・大手門公園やあいおい公園の整備により、まちなかにおける緑化が推進された。 ・都市機能の集約化による自家用車の利用等の移動に伴い排出される二酸化炭素の削減や、都市公園の整備等の緑化の推進による二酸化炭素吸収量の増加により、都市の低炭素化が推進された。 ・市立図書館の年間利用者数が約23万人にまでのぼり、また相生町商店街の一日あたりの歩行者数が400人以上増加するなど、中心市街地の魅力の再生が数字となって表れている。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)	・小諸市が推進する多極ネットワーク型コンパクトシティの実現のため、中心拠点に必要な都市機能を誘導するとともに、効率的で効果的な整備に努める。 ・都市機能の集約によって創出された賑わいを日常的な生業へと進展させるため、賑わいを展開させる仕掛けづくりに取り組み、ひいてはコンパクトシティの目標の一つである“まちなか居住”の促進に努める。
-----------------------------	---